

三小だより

10月号

全国学力・学習状況調査の結果から

校長 藤本 賀津雄

9月18日、19日の一泊二日で、6年生の子どもたちは修学旅行に行ってきました。よく雨に降られる学年だと聞いていましたがお天気にも恵まれ、一人の欠席者もなく全員参加で、楽しい思い出に残る修学旅行にすることができました。「終わりよければすべてよし」ということわざがありますが、6年生のみなさんは小学校生活最後の締めくくりの学年として、友達と仲良く楽しい思い出をこれからもいっぱい作ってほしいと願っています。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査の結果が出てまいりました。本校の国語については、A問題・B問題ともに概ね良好な結果でした。国語A問題では、「五十歩百歩」や「百聞は一見にしかず」などの故事成語の使い方で正しいものを選ばせる問題が本校の課題として特に見えてきました。これは、日常生活の中で起こる出来事やその様子を故事成語を用いて表すなどの機会が少ないという状況の表れであり、普段の読書体験とも大きな関係があると思われます。また、国語B問題では、討論会で出てくる林さんの質問にはどのようなねらいがあるかの説明で、ふさわしいものを選ばせる問題が、特に本校の課題として出てきました。この問題は、相手の質問の意図が捉えられるかというねらいがあり、互いの立場や意図を明確にした話し合い活動が不十分だと思われます。

一方、算数では、A問題・B問題ともに、良好な結果でした。これは算数科で少人数指導や習熟度別指導に継続的に取り組んできたことや、考え方の筋道をノートに書かせたり説明させたりする学習を大切にしてきた成果の一端であろうと思われます。算数では、二種類の繰り返されるリズムの規則性を読み取り、同じリズムが何小節目で重なるかを見つける問題で、特に本校の課題が見えました。今後、一つの考え方にとらわれず、いろいろな考え方で答えを見つけようとする態度を育てていく必要があります。

また、児童質問紙調査では、「家で授業の復習をしている」や「授業の最後に学習内容を振り返る」という項目で比較的高い割合が出ています。しかし、課題として見えたものは、「自分には良いところがある」「朝食を毎日食べていますか」「1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか」などの項目でした。子どもたちの基本的な生活習慣については、各ご家庭で子どもと一緒に今一度振り返りをさせていただき改善に取り組んでほしいと思います。

以上、今年度の全国学力・学習状況調査結果の概要について触れましたが、詳しくは後日、学校のホームページに掲載いたしますのでご覧ください。学力向上に向けて、全教職員が一層の授業改善・充実を図ってまいりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

